

千葉大学医学部附属病院で卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の治療を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年4月24日

産科・婦人科

産科・婦人科では、「卵巣癌・卵管癌・腹膜癌における子宮頸部細胞診および子宮内膜細胞診」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2015年1月から2025年6月までの間に当科で治療を受けた卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の患者様のうち、当院受診前に子宮摘出術の既往がなく、子宮体癌または腔癌の重複がなく、当院で子宮頸部細胞診または子宮内膜細胞診を施行された方。

1. 研究課題名

「卵巣がんにおける子宮頸部・子宮内膜細胞診の陽性率：従来法と Liquid-Based Cytology 法の比較」

2. 研究期間

2026年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の方では、子宮頸部細胞診や子宮内膜細胞診でがん細胞が見つかることがあります。この研究では、当院で治療を受けた方のこれまでの診療情報をもとに、どのような場合に細胞診が陽性になりやすいか、また細胞の採取方法によって結果に差があるかを調べます。本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削

除し、研究 ID に置き換えた情報は千葉大学医学部産婦人科学教室にて解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

研究成果は、学会・論文等で発表します。

4. 研究に用いる情報の種類

通常の診療で得られた診療録（カルテ）上の情報を使用します。主な情報は、年齢、病名、病気の進み具合（進行期）、がんの発生した部位、組織型、腹水の量、子宮頸部細胞診・子宮内膜細胞診の結果、細胞の採取方法などです。なお、この研究のために新たに検査や治療を行うことはありません

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：産科・婦人科 教授 甲賀 かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部産婦人科学教室において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

産科・婦人科 医員 酒井希望

043（222）7171 内線5312